

二つか。

議長「議長として有り」

議長(田村匡雄君) 二三番 岩田 隆君

二三番 岩田 隆君 下体提案理由の説明に好する

投票用紙のつくりかたより、各委員会には記

したところ、要するに、各委員会には記

「要するに」と呼ぶ者あり」

議長(田村匡雄君) 以上で質疑を終ります。

おわかりになりました。議案オ二十四号は、総務、建

設厚生各委員会に分別は記とし、詳細は附録を

願うことといたしたと思ひますが、二に二に議案オ

せんか、

議長(田村匡雄君) 二に二に議案オと記めす。おろ議案

オ二十四号は各常任委員会に分別は記するに決定

いたしました。

は記はるは別所は記表のとあり、二つです。
はお委員会の審査報告は本定例会の会期中に
お願いいたします。

議長(田村匡雄君) 二に二で暫時休憩いたします。

午後九時二十五分休憩

午後九時四十分再開

議長(田村匡雄君) 休憩前に引き続き議案を申し上げます。

目録オナナ議案オ二十四号は昭和四十四年度福生市

国民健康保険特別会計予算と議案といたします。

議事係長として議案の朗読をいたします。

(議長(田村匡雄君) 朗読) 省略

議長(田村匡雄君) 以上で朗読は終了しました。

本業にともなう提案理由の説明をいたします。助役

藤原俊夫君

議三九
議三十
議三十一
議三十二
議三十三
議三十四
議三十五
議三十六
議三十七
議三十八
議三十九
議四十

勅使 藤原俊天君 登壇
 生所 国民健康保険特別合司子算案に
 甲乙系子

一頁に就事のめくありて予尊を訓は、
 二頁に就事のめくありて予尊を訓は、
 三頁に就事のめくありて予尊を訓は、
 四頁に就事のめくありて予尊を訓は、
 五頁に就事のめくありて予尊を訓は、
 六頁に就事のめくありて予尊を訓は、
 七頁に就事のめくありて予尊を訓は、
 八頁に就事のめくありて予尊を訓は、
 九頁に就事のめくありて予尊を訓は、
 十頁に就事のめくありて予尊を訓は、

また、文々を二龍明申しおける子とカ一穀の国民健康
保険特収入におきましては、本年度当初予算に比
べて一四%の自然増収を見込みます、カニ穀国庫支
出金以下の収入につきましても、それだけの増減に依りた
増収を見込んでおります。さう不足する收
入をカ田穀の一般会計からの繰入金や補正費として次
年へおきます。

7. 更に本館におきましては、
 本館の候限給は貴が本館に

福生町議会

保合計を以て算の下部を以て推分して、
 この保険給付費の予算は、その国民健康
 保険特収入等の増収に依りてしる、本年度
 当初予算額の二、三倍の予算を計上したものと
 する。この保険給付費に因りてしる、来手
 度の予想としてしる、四十四年度中における
 療養給付費の件数は、本年度が約四十万五千件
 とあるに好シマ、来年度の一千件増の四十七万五千件
 程度と推定する。

また一昨あたりの費用額も本年度は二千七百三十三
円であるのに、来年度は二千九百円程度に増
加するものと予想されるものが多いです。なお、
産費につきまとは、過去の実績等をまじりて若干
女の被保険者三千六人につき一併、葬祭費につきま
とは、被保険者二百五十八人につき一併発生するもの
と、この予算を計上しているものが多いです。

よろしくご審議をいたしたくする。原案にあり、ご決あ
うんこととお願ひ申しおける。大才でござります。

議長 田村匡雄君 以上ご提案理由の説明は終りました。
これより本議に付する質疑を行ないます。

(田村匡雄君) 質疑はござりますか。

議長 田村匡雄君 以上ご質疑を終ります。

おはかりいたします。

賛合には託し、詳細は審議を願うことといたしたい

と思ひます。かゝるご審議はござりますか。

(田村匡雄君) 審議はござります。

議長 田村匡雄君 二番議はことと認めます。よろしく審議を

三十五号は厚生委員会には託する。ことに決まいたし
ました。

ほか各委員会の調査報告は本定例会の会期中に
お願ひいたします。

議長 田村匡雄君 日程オナ七議案オナ三十九号昭和四十四

年度福生けいり益質屋特別会計予算と議題といた
します。

議事 議長として議案の説明をいたします。

(前正)

事業収入中「流出物売却残金」二万四千七百

「流出物売却残金」二万四千七百

「流出物売却」利子一万四千七百

「流出物売却」利子二万八千七百にのみ

を以て訂正願ひます。

(田村匡雄君) 議長 議長 議長 議長

議長 田村匡雄君 議長 議長 議長 議長

本議に付する提案理由の説明をいたします。助役

篠塚俊夫君

(助役 篠塚俊夫君 登壇)

助役 篠塚俊夫君 議長 議長 議長 議長

福生けいふ益實屋特別会計予算案に於ての説明申
しあげます。

先きほどおかげをもちまして福生けいふ益實屋基金
本部改正案の二の案にいたしまして、實屋の貸は基
金に三百円から五百円に増額になりましたので、
来年度においとも益實屋特別会計は自給自足
状態をやつくりけるといふ方針で予算案を編成し
ていただきます。

一頁おちび二頁に起債の款がありまして予算案別表
のイヌイヌ予算の表にもあるとおりです。イヌイ
ヌの予算規模はそれより百四十八万四千円、イヌイ
ヌ、先きほど日程やイヌイヌ課決にいたしまして
昭和四十三年度の最終補正予算とすべく同一の方針で
編成した予算でございます。

よろしくご審議をいただきます。原案とあり、決
定ありんことをお願いいたします。

議長 田村匡雄君 以上で提案理由の説明は終了した
ので、これに於ては、質疑を承ります。

(一) 議長はこれに於ては、質疑を承ります。

議長 田村匡雄君 以上で質疑を終ります。

おはかりいたします。議長がイヌイヌに於ては

厚生委員会には既に詳細な審議を願うことに決
していただいております。これに、議長が承りますか、

(二) 議長はこれに於ては、質疑を承ります。

議長 田村匡雄君 (一) 議長はこれに於ては、質疑を承ります。

案がイヌイヌは厚生委員会には既に決するに決定し
ております。

はおお委員会の報告は本定例会の会期中に
お願いいたします。

議長 田村匡雄君 日程がイヌイヌ議長がイヌイヌ
度福生けいふ福生町計画福生土地区画整理事業

特別会計予算と課題といたします。
事務局長とく、議案の朗読をいたさずす。

Handwritten notes in blue ink, partially visible on the left margin, including the word "Handwritten" and some illegible scribbles.

方中 方二 款「事」 業費 六万七千二百五十四元

二
可
正
願
手
下。

桑島田村隆君
 以上三朗読
 以上三朗読
 以上三朗読

本集に「提集理由」の說明を附せしむ、
跡俊大君 期後藤

(助教傳錄侯天君登壇)

[illegible]

。議長田村匡雄君「二事議はしと決めます。ふく議案
 オニナ七号は建設本員合には託することに決定した
 ました。
 ほか本員合の調査報告は本会組合の会期中にお
 願いいたします。

。議長田村匡雄君「日程オナ九議案オナ八号昭和四十四
 年度福生けと畜場特別合訂予算を議題としたし
 ます。

議事係長セシ「議案の朗読をいたします。

（須崎議事係長朗読「省略」）

。議長田村匡雄君「朗読は終了しました。

本案につき提議理由の説明をいたします。 助役
 須崎俊夫君

（助役須崎俊夫君登壇）

。助役須崎俊夫君「議案オナ十八号昭和四十四年度福

議事係長

議事係長

生けと畜場特別合訂予算案にふくまの内容と
 二説明申しあげます。

と畜場の現況につくすは、先さほど本年夏補
 正予算案と上程いたしました予算案に、二箇内に
 ましく産業課長から二説明申しあげましたとあり、
 福生けと畜場の発展にとまはりまする農家の
 家畜飼育頭数の減少等から、福生けと畜場におけ
 る飼育頭数は昭和四十一年度でピークといたしま
 す。毎年度減少の傾向をたどるおるのぐうござ
 います。ピーク時には必ずしも三割三分程度の減少をみ
 るのぐうござります。したがいまして来年度以降は
 じだいに、大さな変化がござります。と畜場の
 経営が利益をうみだすと、二つ二つは大きな
 一、二つよりオナ赤字になるの能いの方だござ
 るのぐうござります。と畜場の経営は、
 時刻合訂予算と同様に自給自足経済で、と畜場を運営

